



2024年11月11日

各位

会社名 双葉電子工業株式会社
 代表者 代表取締役 有馬 資明
 社長執行役員
 (コード番号 6986 東証プライム)
 問合せ先 執行役員 中村 正行
 業務管理本部長
 TEL 0475 (24) 1111

2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異、
 通期連結業績予想の修正、営業外費用および特別損失の計上に関するお知らせ

2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値と本日公表の実績数値との差異および2025年3月期通期連結業績予想数値の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、2025年3月期第2四半期(中間期)における営業外費用および特別損失の計上について、併せてお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,000	△700	△600	△900	△21.22
実績値(B)	24,568	△474	△357	△1,273	△30.02
増減額(B-A)	△431	225	242	△373	—
増減率(%)	△1.7	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 2024年3月期第2四半期(中間期)	29,061	△1,172	14	△3,059	△72.13

2. 2025年3月期通期連結業績予想の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	51,000	△400	△300	△800	△18.86
今回修正予想(B)	50,000	△1,100	△500	△900	△21.22
増減額(B-A)	△1,000	△700	△200	△100	—
増減率(%)	△2.0	—	—	—	—
(ご参考)前期実績(C) (2024年3月期)	56,360	△1,141	570	△1,854	△43.71
増減額(B-C)	△6,360	41	△1,070	954	—
増減率(%)	△11.3	—	—	—	—

3. 差異および修正理由

【営業利益の変動要因】

当中間連結会計期間においては、電子機器事業では、顧客所要の後ろ倒しにより売上高が減少しましたが、コスト統制のさらなる強化を実施したことにより、業績予想に対して赤字幅は縮小しました。生産器材事業では、円安による増収影響はあったものの、韓国において自動車・家電市場低迷の影響を受け、さらに中国子会社の事業停止に関連して保有する棚卸資産の評価損失を計上したことから赤字となりました。これらの結果、連結全体では、業績予想に対して赤字幅は縮小しました。

一方、通期予想については、電子機器事業では、主としてフィリピン子会社の退職年金基金の解散に伴い、新たに発生した退職給付数理計算上の差異の一括償却(約6億円を想定)を行う必要が生じたことが大きく影響したことから、赤字幅は拡大する見通しです。生産器材事業では、中国子会社の事業停止により業績が一部で改善するものの、引き続き韓国での市況低迷の影響を受けることから、減益となる見通しです。これらの結果、連結全体では、業績予想に対して赤字幅は拡大する見通しです。

【経常利益の変動要因】

当中間連結会計期間においては、主として営業利益の改善(赤字幅縮小)の影響を受けたことにより、業績予想に対して赤字幅は縮小しました。

一方、通期予想については、昨今の経済状況を勘案して受取配当金や受取利息などの増加を見込むものの、営業利益悪化の影響により、赤字幅は拡大する見通しです。

【親会社株主に帰属する当期純利益の変動要因】

当中間連結会計期間においては、営業利益の赤字幅縮小の影響があったものの、主として当初想定していた米国子会社における工場売却時期に修正が発生して流動的となったことで、見込んでいた固定資産売却益の計上を取り消したことから、赤字幅は拡大しました。

通期予想については、フィリピン子会社の固定資産売却が実現したことにより固定資産売却益を計上した一方で、営業利益の赤字幅拡大およびフィリピン子会社の固定資産売却に伴い法人税等が追加で発生する見込みとなったことから、赤字幅は拡大する見通しです。

以上のことから、2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期通期の連結業績予想を修正いたします。
なお、第3四半期連結会計期間以降の為替レートは1米ドルあたり145円を想定しています。

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報を合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な要因により異なる場合があります。ご了承ください。

4. 営業外費用の内容

第1四半期連結会計期間において、為替差益337百万円を計上しておりましたが、その後の為替相場の変動により当第2四半期連結会計期間において、為替差損753百万円を計上いたしました。その結果、当中間連結会計期間において、為替差損416百万円を営業外費用に計上いたしました。

5. 特別損失の内容

当中間連結会計期間において、2024年8月8日に公表いたしました「中国子会社の事業停止に関するお知らせ」に関する費用等を事業再編損として516百万円計上いたしました。その内訳は、退職加算金等です。

以上